

杭州 2022 アジア競技大会 トラック&フィールド種目日本代表選手選考要項

1. 編成方針

アジア競技大会では、2024年パリオリンピックを最大目標とした戦略的派遣をしていくため、以下の3つの目的を重視する。

- 1) 本大会で金メダルを獲得することで、オリンピック・世界選手権におけるメダル・入賞につなげる。
- 2) 2023年世界選手権大会へより多く出場できるようにするために記録と成績を最大限高める。
- 3) 本大会でメダル獲得が期待できる種目については積極的に派遣する。

2. 開催地

杭州（中国）

3. 開催期間

2022年9月16日（金）～9月22日（木）

4. 対象種目

(1) 男子

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、3000mSC、110mH、400mH、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投、十種競技、4×100mリレー、4×400mリレー

(2) 女子

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、3000mSC、100mH、400mH、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投、七種競技、4×100mリレー、4×400mリレー

(3) 混合

4×400mリレー

5. 主なスケジュール

2022年

- | | |
|---------|-------------------------------------|
| 4月～5月 | 日本グランプリシリーズ |
| 5月7日（土） | 第106回日本陸上競技選手権大会・10000m（2022／東京） |
| 5月8日（日） | セイコーゴールデングランプリ陸上2022東京（以下「GGP」という。） |
| 5月中旬 | 日本代表選手発表予定 |

6. 選考競技会

(1) 個人種目（10000mを除く）

日本グランプリシリーズ内アジア競技大会選考指定競技会

GGP内アジア競技大会選考指定種目

ただし、2022年5月8日までに開催された競技会のみを対象とする。

※各種目の指定競技会は、日本グランプリの実施種目決定と合わせて発表予定（2022年2月予定）

(2) 個人種目（10000m）

第106回日本陸上競技選手権大会・10000m（2022／東京）

(3) リレー種目

日本グランプリシリーズ及びGGP

ただし、2022年5月8日までに開催された競技会のみを対象とする。

※各種目の指定競技会は、日本グランプリの実施種目決定と合わせて発表予定（2022年2月予定）

7. エントリー枠

男女各種目最大2名までエントリー可能。

ただし、派遣人数枠に限りがあるため、その範囲内の人数となる。

8. 選考基準

下記の各条件中の競技成績については、リレーを除き、当該種目に係る成績のみ考慮する。

下記の数字の若い順に優先する。

なお、選考基準内に定められた「世界選手権出場記録水準」とは2022年5月17日時点のWAワールドランキングターゲットナンバー内のランキング保有者※のことを示す。

また、「世界選手権参加標準記録」の有効期限は2021年6月28日～2022年5月8日までの記録を対象とする。

※<https://www.worldathletics.org/world-rankings/>

(1) 個人種目

1) 選考競技会で日本人3位以内の競技者

ただし、下記の項目（数字の若い順に優先）に該当する者とし、各項目内の優先順位は選考競技会における順位を優先する。

- ①世界選手権参加標準記録を満たした競技者
- ②世界選手権出場記録水準を満たした競技者

2) 選考競技会で日本人8位以内の競技者

ただし、下記の項目（数字の若い順に優先）に該当する者とし、各項目内の優先順位は選考競技会における順位を優先する。

- ①世界選手権参加標準記録を満たした競技者
- ②世界選手権出場記録水準を満たした競技者

3) 世界選手権参加標準記録を満たした競技者

4) 本大会でのメダルが期待される競技者

ただし、下記の項目（数字の若い順に優先）により優先順位を定める。

- ①選考競技会における成績
- ②2022年度の成績（2022年4月1日～2022年5月8日までの記録を対象）
- ③2021年度の成績（2021年4月1日～2022年3月31日までの記録を対象）

(2) リレー種目（男女4×100mリレー、男女4×400mリレー、混合4×400mリレー）

選考競技会の成績を総合的に判断し、リレーの特性と戦略を考慮して選考された競技者。

混合4×400mリレー、及び男女4×400mリレーは、両種目の総合的な戦略を踏まえて選考する。

ただし、強化委員会が特に認めた場合を除き、リレーの準備のために強化委員会が計画し、参加を求めた遠征、競技会及び合宿に参加した者の中から選考するものとする。

9. 選考方法

故障等により、大会本番で競技力を発揮できないと強化委員会が判断した場合を除き、上記選考基準に従い下記の方法で選考する。

(1) 個人種目

8. 選考基準(1) 1)～4)に従い、強化委員会にて選考原案を作成し、選考委員会で選考し、理事会において決定する。

(2) リレー種目

個人種目での選考状況を鑑みて派遣の有無を検討し、強化委員会にて選考原案を作成し、選考委員会で選考し、理事会において決定する。

10. 補足

- (1) 派遣人数枠及び代表選手の正式決定は、派遣団体である JOC により決定される。
- (2) 代表選手は本連盟が定める義務を遵守するものとする。
- (3) 下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。
 - 1) アンチ・ドーピング規則に反した場合
 - 2) 故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合
 - 3) 本連盟が定める義務を遵守しない場合
- (4) リレーの代表選手は、強化委員会が特に認めた場合を除き、リレーの準備のために強化委員会が計画する遠征、競技会及び合宿に参加する義務を負うものとする。
- (5) 代表選手は、選考後のトレーニング状況を報告すると共に、医事委員会がメディカルチェックの必要があると判断した場合は、応じる義務を負うものとする。
- (6) 天災、疫病の流行その他の理由による選考競技会の開催中止またはその開催方法等の変更に伴い、選考競技会及び選考基準について、専務理事の決定により、変更することができる。ただし、選考基準について基本的な考え方の変更を伴う場合には、理事会の決議を要するものとする。

以上